

2025 年 9 月
No.483 号

第 71 回

名古屋まつり

令和 7 年 10 月 18 日 (土)・19 日 (日)

今年も参加決定！

去年に引き続き、今年も甲冑試着体験で参加させていただきます。
ご来場お待ちしております！



言い方と伝わり方について

森 直樹 (社長)



酷暑、という言葉が飛び交う今年の夏ですが、弊社のお盆休みには弊社恒例の読後感を提出して頂きました。今回の課題図書は『「良い質問」を 40 年磨き続けた対話のプロがたどり着いた「なぜ」と聞かない質問術』著：中田 豊一 です。質問の投げかけ方によっていかに相手と建設的なコミュニケーションを取るかという内容です。これまでは「なぜ」を 5 回繰り返すと問題の根幹に辿り着く、と言われていましたが他者に対してのなぜ、は「言い訳を生む」結果となるというのが著者の見解です。このように、コミュニケーションひとつとっても一昔前と今では考え方が変わります。また、「伝え方」についても昨今様々な書籍が出ておりますが、世代や環境において多様化が進む現代では、自分の伝えたいことを自分の言葉で伝えることはごく自然ですが、個々のコミュニケーションにおいてそれだけでは伝わらず、伝える相手に合わせた言葉、話し方というのが必要になります。伝える相手が受け止められる単語、声の調子、強弱といった要素まで配慮しつつ伝えようとする事で伝わるものかと考えます。もちろんかく言う私自身、けっして伝え方が上手いわけではありません。意識として伝える相手のことを第一に配慮しつつ、自分なりの伝え方をすることで結果言葉だけでなく、気持ちもそれに合わせて伝わるものになります。





今年の冬、夕方より39度の熱が出て翌日、近所の内科医に受診しました。いつもいく内科はコロナのころから熱が出ると病院内で検査してもらえない為、娘に紹介してもらい、初めての病院での受診でした。初診の為問診票の記入があり、熱があることはもちろんですが、最近胸が苦しくなり呼吸がしにくい事があり、このことを問診票に書きました。熱の原因は案の定インフルエンザでした。胸の痛みの事で、レントゲンを撮ることになりました。レントゲンを撮った結果、初期の肺気腫との診断でした。驚きました。煙草をやめて10年以上たつのですが、やはり若いころにロングピースと言う強い煙草を1日2箱ほど吸っていたこともあり、これが原因と思いましたが、何かレントゲンだけでの診断に納得がいかない感じが有りました。ちょうど2週間後に人間ドックの予定が有り、ここではっきりすると思い、人間ドックの問診にて肺気腫と診断された事を伝えて再度レントゲンを見ていただきましたが、全然問題ないとの回答でやはり町医者言うことは信用できないと、安堵しておりました。それが、2週間後ぐらいに人間ドックの診断結果が来ました。なんと肺の再検査との事、これにもビックリ。なんでと思いましたが、とりあえず再検査をしました。いろんな検査をして先生より特にひどく悪いわけではないとの事でしたが、近所の内科の〇〇病院の〇〇先生に診ていただいたことを伝えたところ、名古屋でも有名な呼吸器の先生との事で、ビックリ、その先生が言うことなら、間違いないだろうとの事、30歳ぐらいの若い女性の先生でしたが、あんたの意見は無いのかい、残念。特に治療法もなく、年齢を重ねるたびに悪くなるのですかと問うと、そうですねとの回答、最後に〇〇病院でこれから診てもらってはどうかと言われる。病院は選ばないをつくづく感じました。

一生を終えて後に残るのは

大石 耕平（東京オフィス）



最近よく散歩するコースにあるお寺があり、「今月の言葉」という掲示を楽しみにしている。直近だと「満腹な人と空腹な人は意見が違う。」見た瞬間にほんとそれ！と感じた。少し前になるが、「一生を終えてのちに残るのは、われわれが集めたものではなく、われわれが与えたものである。」三浦綾子さんの小説『続 氷点』より。と書いてあった。私はまだ読んだことのない小説なので興味が湧いたので今度読んでみたいと思う。しかしこの言葉で思い出したことがあった。それは私が習っている剣道の先生で範士八段の先生が亡くなられた時の事。質素で堅実な先生を悼み御弟子さんから生徒まで約1,500人が参列した葬儀はとても温かなものだった。これは集めたものではなく、与えられたものが集まった形で



あり有象無象の施しを、タスキリレーの様に次世代に伝えた影響であったと感じた。これこそが生きた証と言えるのだろう。そして人間に生を受けた意味なのかもしれない。それぞれの人生は、脈々と続く人類の営みのほんの一瞬。残したいものは何なのか。ジブリ作品の「君たちはどう生きるか」という映画もまだ観ていないのでこの夏休みに見ようと思う。それにしてもお寺の掲示板が面白くてしばらくお散歩コースが変えられそうにない。宗派まで気にしてみたことは無いが、この言葉を選んでいる住職の話を知りたいものです。ちなみに「ありがとうの反対は？」との問いかけもありました。さてなんでしょう。



先日初めて友達と最近話題の推し活ならぬ、初めてのマー活を会社の近くのラーメン屋さんで体験してきました。過去に中国、上海を訪れた時に、花椒は好きですが八角と紹興酒が苦手でご飯が食べれなかった苦い経験があり躊躇していました。足を踏み入れてみました。「マー活」とは、「麻辣（マラー）」＝痺れる辛さと唐辛子の辛さを特徴とする中華料理を楽しむ活動のことを指します。夏になると、冷たいものにばかり手が伸びがちですが、汗をかきながら食べる麻辣料理は、食後に驚くほどスッキリするのが魅力。代謝が上がり、体も気分もリフレッシュ。まさに、夏の暑さに負けない“食べるスタミナドリンク”とも言える存在。最近では一人でも入りやすい雰囲気 of 麻辣湯のお店も増えており、辛さや量



り売りの具材を自分好みにカスタマイズもでき SNS を中心に大人気だそうです。外食チェーンなどでも最近見かけることも多く、気軽に挑戦しやすくなったマー活。最初は苦手意識が強かったですが、一度足を踏み入れた最近では自分好みの麻婆豆腐を作ってみようとスーパーで調味料を買い漁るほどの中毒性です（笑）辛いものが得意な方はぜひ一度、お近くの中華料理屋さんの四川麻婆豆腐などから痺れと辛さの沼の世界に一步足を踏み込んでみてはいかがでしょうか。

ipad air M3

吉田 翔（森松産業）



最近、iPad Air M3 を購入しました。購入のきっかけは…正直に言うと「ゲームを快適に楽しめたかったから」です。スマホの小さな画面では物足りなくなり、大きくてきれいな画面、高性能なチップ、Apple Pencil 対応——気づけばポチッと注文していました。実際に使ってみると、その快適さは想像以上。サクサク動いて、音も映像も臨場感たっぷりで、ついつい時間を忘れて楽しんでしまいます。最初は完全に“趣味用”として使うつもりだったのですが、だんだんと使い道が広がっていききました。特に便利だと感



じているのが、「ChatGPT」との組み合わせです。考えをまとめたいとき、ちょっとした文章のアイデアがほしいとき、iPad の画面で ChatGPT とやり取りしていると、自分の思考が少しずつ整理されていく感覚があります。まるで“雑談できるメモ帳”のような存在で、検索とは違う柔らかい答えが返ってくるのも魅力のひとつです。iPad は仕事用でも、完全な勉強ツールでもありません。でも、“気持ちが前向きになる”“ひとつの端末で遊びも考え事もこなせる”という意味では、今の私にとってとても大切な相棒です。楽しむことをきっかけに、自然と使い方の幅が広がっていく——そんな付き合い方ができるデバイスだと、改めて感じています。これからも、もっと自分らしい使い道を見つけていけたらいいなと、ちょっとわくわくしています。

New Art Coming Soon

久しぶりの映画館

山田 圭子（森松産業）



先日、長男と映画を見に行きました。前回映画を見に行ったのはいつだったのか思い出せないほど久しぶりの映画館でした。ネットで座席の空きは確認したものの、クレカ登録をするのが嫌な私と長男は前もってチケットを購入することせず、「朝一で行けば何とかなる」って事で朝一に映画館へ行きました。人気の映画ということもあり、10スクリーンのうち4スクリーンで上映。チケット購入機械の前で操作を始めて、タイトルの前に「IMAX」「ATMOS」「シートジャック」とあり、何が違うのか判断が出来ず私はしばしフリーズ。「まあ、どれでもいいんじゃない？」となり、良い感じの座席で2人並んでとれる「ATMOS」を選択。追加料金を取られたので、普通のとは何かが違うんだと…。そう思っても特に調べることもしませんでした。「大音量と振動は大丈夫か」と長男に心配されましたが、「太鼓の練習で大音量と振動には慣れているから問題はない」と長男にドヤ顔の私。開場時間がせまりソワソワしている私と、早く入ってもなかなか始まらないからと余裕で飲み物を調達する長男。映画にはポップコーンはつきものじゃないのかと聞くと、「見ているときに食べるのは嫌い」と始まる前に食べきれるホットドックのセットを購入。映画は一人で見るのが好きな長男なので、私も一人の世界に入り鑑賞。何か音響が違う様な気がする。音が凄い気がする。多分これが「ATMOS」なんだと、比較するものがないので音響が良いって事で自己完結。途中でトイレに行きたくなったら…と心配しましたが、あっという間の2時間半でした。三部作の映画で今回は第一章。数か月の内に次回作が上映されるものだと思います、第二章はいつなのかと長男に確認したら、「わからんけど1年後じゃない？」って…。おお、長期戦だ…。「第一章みたら全部みるよね？」と長男に確認され「あ、当たり前じゃん…見るに決まってるじゃん…」先は長いなあ…。